

# 学ぶ巣



子ども支援員や学習ボランティアが子どもたちに様々な学びや経験、学ぶ楽しさをお届けします

これからまなぶーすを利用しようと考えている方に、活動の様子や学びをサポートする子ども支援員、学習ボランティアさんの声をお届けします。

◎まなぶーすの利用は無料です。

## 【学ぶ巣の由来】

27年の夏期講習中のある日、予約を間違えてきた子が一人いたので、机を増やし、少し窮屈な状態で皆さんに学習いただきました。学習ボランティアと1対1で熱心に勉強する様子を事務所から眺めていて、ふと“学ぶ巣”のようだなと思い、まなぶーすだよりの名前にしました。

## ★登録者数

(1月31日現在)

小6:4名、中1:7名、中2:19名、中3:20名、  
上記以外:25名 計:75名 (うち、学習は49名/定員50名)

## ★学習ボランティアの数

大学生:28名、社会人:29名 計:57名

## ★1月の利用実績

子どもの来所のべ人数:213名  
学習ボランティアの参加のべ人数:49名



## 書道部～す

大東文化大学書道学科の学生さん2名にご協力いただきました。9名参加予定でしたが、体調不良による直前のキャンセルで6名の子ども達が2時間、それぞれの課題と向き合いました。楷書と行書で2種類の言葉から選ぶのですが、どちらの難易度も高く、学生さんがそれぞれに見事なお手本を書いて下さり、それを熱心に見入りながら仕上げていました。



まなBee

今さら…ですが、まなぶーす 子ども支援員の紹介を1名ずつしていきたいと思ひます(๑\_๑)

子ども支援員の栗田です。昨年10月にまなぶーすのスタッフになりました。担当教科は主に英語です。以前は学校で音楽教諭として働いていました。今でこそ英語を教える立場にいますが、中高生の頃は苦手教科のひとつでした。英語と真剣に向き合うようになったのは、初めての勤務校でオーストラリア人の同僚と出会ったのがきっかけでした。それから海外に興味を持ちはじめ、これまでオーストラリア、カナダ、アイルランドに約1年ずつ滞在しました。それらの経験から、語学はコミュニケーションをとるための便利なツールにほかならない、と実感しました。語学は目的をもって学習しやすい教科です。例えば、3年後には東京五輪が開催され、国際共通語である英語に触れる、より多くの機会に恵まれます。苦労して学んできた英語に息を吹き込むチャンスです。学校の授業や受験のためだけでなく、会話に生かせる英語の指導にもまた、力を入れていきたいと思ひます。



## ★ キムチ鍋 30日(月) ★

子ども8名(男3、女5)、学ボラの大学4年栄養士Uさん&大学1年栄養士を目指すMさん、子ども支援員2名。男子は肉団子チーム、女子は具材切るチームに分かれて調理開始。手際の良い女子、お肉コネコネ楽しそうな男子♪(´艸`)真っ赤なキムチ鍋ではなく、かなりマイルドなキムチ鍋に仕上げ、鍋2クール+卵雑炊を12名で完食。ちょっとおやつも食べて、ゲームや学校の話で盛り上がり、楽しい食卓でした(´・ω・`)、次回は親子丼と手打ち(小)うどん定食、ゼリー付きt(๑´日`๑)t”



白菜・葱・ニラ・えのきをカット



ショウガ入り肉団子



スイーツ大好き女子達から  
今回デザートがなくて少々  
クレーム?!



具沢山キムチ鍋



卵雑炊

